

2025年6月6日

クレジットカード不正利用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 山本 豊）は、クレジットカードの不正利用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正利用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、2025年第1四半期（1月～3月分）の集計値をとりまとめました。

これによると、同四半期の不正利用被害額は193.2億円で前期（2024年第4四半期（10月～12月））比では19.0%の増加、不正利用被害額に占める偽造被害額は1.8億円で18.2%の減少、番号盗用被害額は182.9億円で21.4%の増加、その他不正利用被害額は8.5億円で9.6%の減少となりました。

また、不正利用被害額の前年同期（2024年1月～3月）比では55.7%の増加となりました。

なお、今期より、クレジットカードショッピング市場規模（信用供与額）に占める不正利用被害額の割合を算出した「不正利用発生率」※も公表することといたしました。

このたびの不正利用被害額の集計結果を受け、2025年第1四半期（1月～3月分）の不正利用発生率は、0.064%となりました。

※2025年3月31日に「不正発生率」として2019年～2024年の年間分を公表していますが、このたび、その名称を「不正利用発生率」に変更いたしました。

詳細は、「別紙 クレジットカード不正利用被害の発生状況」を参照してください。

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。
一般社団法人日本クレジット協会 業務部
島田、勝田、竹内
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号
住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ

クレジットカード不正利用被害の発生状況

1. クレジットカード不正利用被害額

(単位：億円)

期 間	クレジットカード カード 不正利用被害額	クレジットカード不正利用被害額の内訳						
		偽造カード被害額		番号盗用被害額		その他不正利用被害額		
		被害額	構成比	被害額	構成比	被害額	構成比	
2014年(1月～12月)	114.5	19.5	17.0%	67.3	58.8%	27.7	24.2%	
2015年(1月～12月)	120.9	23.1	19.1%	72.2	59.7%	25.6	21.2%	
2016年(1月～12月)	142.0	30.6	21.6%	88.9	62.6%	22.5	15.8%	
2017年(1月～12月)	236.4	31.7	13.4%	176.7	74.8%	28.0	11.8%	
2018年(1月～12月)	235.4	16.0	6.8%	187.6	79.7%	31.8	13.5%	
2019年(1月～12月)	274.1	17.8	6.5%	222.9	81.3%	33.4	12.2%	
2020年(1月～12月)	253.0	8.0	3.2%	223.6	88.4%	21.4	8.5%	
2021年(1月～12月)	330.1	1.5	0.5%	311.7	94.4%	16.9	5.1%	
2022年(1月～12月)	436.7	1.7	0.4%	411.7	94.3%	23.3	5.3%	
2023年(1月～12月)	540.9	3.1	0.6%	504.7	93.3%	33.1	6.1%	
2024年(1月～12月)		555.0	5.9	1.1%	513.5	92.5%	35.6	6.4%
	(1月～ 3月)	124.1	0.7	0.6%	115.1	92.7%	8.3	6.7%
	(4月～ 6月)	135.9	0.9	0.7%	126.3	92.9%	8.7	6.4%
	(7月～ 9月)	132.7	2.1	1.6%	121.4	91.5%	9.2	6.9%
	(10月～12月)	162.3	2.2	1.4%	150.7	92.8%	9.4	5.8%
2025年(1月～3月)	193.2	1.8	0.9%	182.9	94.7%	8.5	4.4%	
(1月～ 3月)	193.2	1.8	0.9%	182.9	94.7%	8.5	4.4%	

- (一社)日本クレジット協会の調査による。
- 調査対象は、国際ブランドカードを発行している会社を中心に、銀行系カード会社、信販会社、流通系クレジット会社、中小小売商団体等である。
- 回答社数は40社である。
なお、銀行系カード会社のF C／B C各社は国内ブランド会社単位で、また日本専門店会連盟・エヌシー日商連の各単会は連盟単位で、それぞれ1社としている。
- 集計数字は、調査票提出会社のキャッシングを含む不正利用被害額を加算合計したものであり、海外発行カード分は含まない。
- 2014年～2016年、2017年1月～6月、2018年7月～9月、2019年10月～2020年12月、2022年4月～9月、2023年1月～3月、2024年1月～6月の集計数字は変更が生じたため、修正している。
- 2021年より、構成比は、単位未満を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

2. クレジットカード不正利用発生率

(単位:億円)

期 間	クレジットカード ショッピング 信用供与額 (速報値)	クレジット カード 不正利用被害額	不正利用発生率
2025年(1月～3月)	302,814	193.2	0.064%
(1月～ 3月)	302,814	193.2	0.064%

- (一社)日本クレジット協会の調査による。
- 不正利用発生率(%)＝クレジットカード不正利用被害額÷クレジットカードショッピング信用供与額×100
- 「クレジットカードショッピング信用供与額」は、消費者が当該期間にクレジットカードショッピングを利用した額をいう。
- 「クレジットカード不正利用被害額」は、上記1. の被害額。
- 取引形態(対面、非対面)の内訳はない。
- 四半期単位の不正利用発生率は2025年より公表している。
- 「年間のクレジットカードショッピング信用供与額」と「四半期単位のクレジットカードショッピング信用供与額(速報値)の合計」は一致しない場合がある。

＜参考1＞ クレジットカード偽造被害の国内・海外別内訳

(単位：億円)

期 間	クレジットカード偽造被害額	クレジットカード偽造被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
2014年(1月～12月)	19.5	4.5	23.1%	15.0	76.9%
2015年(1月～12月)	23.1	5.6	24.2%	17.5	75.8%
2016年(1月～12月)	30.6	10.5	34.3%	20.1	65.7%
2017年(1月～12月)	31.7	12.8	40.4%	18.9	59.6%
2018年(1月～12月)	16.0	7.4	46.2%	8.6	53.8%
2019年(1月～12月)	17.8	6.4	36.0%	11.4	64.0%
2020年(1月～12月)	8.0	2.3	28.8%	5.7	71.3%
2021年(1月～12月)	1.5	0.8	53.3%	0.7	46.7%
2022年(1月～12月)	1.7	0.5	29.4%	1.2	70.6%
2023年(1月～12月)	3.1	0.7	22.5%	2.4	77.2%
2024年(1月～12月)	5.9	1.7	28.8%	4.2	71.2%
	(1月～ 3月)	0.7	42.9%	0.4	57.1%
	(4月～ 6月)	0.9	11.1%	0.8	88.9%
	(7月～ 9月)	2.1	22.7%	1.6	77.3%
	(10月～12月)	2.2	36.4%	1.4	63.6%
2025年(1月～3月)	1.8	0.6	33.3%	1.2	66.7%
	(1月～ 3月)	1.8	33.3%	1.2	66.7%

＜参考2＞ クレジットカード番号盗用の国内・海外別内訳

(単位：億円)

期 間	クレジットカード番号盗用被害額	クレジットカード番号盗用被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
2014年(1月～12月)	67.3	42.0	62.4%	25.3	37.6%
2015年(1月～12月)	72.2	45.7	63.3%	26.5	36.7%
2016年(1月～12月)	88.9	54.6	61.4%	34.3	38.6%
2017年(1月～12月)	176.7	108.0	61.1%	68.7	38.9%
2018年(1月～12月)	187.6	125.2	66.7%	62.4	33.3%
2019年(1月～12月)	222.9	152.9	68.6%	70.0	31.4%
2020年(1月～12月)	223.6	163.9	73.3%	59.7	26.7%
2021年(1月～12月)	311.7	235.2	75.5%	76.5	24.5%
2022年(1月～12月)	411.7	314.4	76.4%	97.3	23.6%
2023年(1月～12月)	504.7	374.0	74.1%	130.7	25.9%
2024年(1月～12月)	513.5	377.5	73.5%	136.0	26.5%
	(1月～ 3月)	115.1	71.6%	32.7	28.4%
	(4月～ 6月)	126.3	75.4%	31.1	24.6%
	(7月～ 9月)	121.4	70.7%	35.6	29.3%
	(10月～12月)	150.7	75.7%	36.6	24.3%
2025年(1月～3月)	182.9	150.1	82.1%	32.8	17.9%
	(1月～ 3月)	182.9	82.1%	32.8	17.9%

＜参考3＞ 1997年～2013年 クレジットカード不正利用被害の発生状況

(単位：億円)

期 間	クレジットカード不正 利用被害額	クレジットカード不正利用被害額の内訳			
		偽造カード被害額		その他不正利用被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
1997年(1月～12月)	188.0	12.0	6.4%	176.0	93.6%
1998年(1月～12月)	216.0	28.0	13.0%	188.0	87.0%
1999年(1月～12月)	271.7	90.9	33.5%	180.7	66.5%
2000年(1月～12月)	308.7	140.2	45.4%	168.5	54.6%
2001年(1月～12月)	275.7	146.4	53.1%	129.3	46.9%
2002年(1月～12月)	291.4	165.0	56.6%	126.4	43.4%
2003年(1月～12月)	271.8	164.4	60.5%	107.4	39.5%
2004年(1月～12月)	186.4	105.6	56.7%	80.8	43.3%
2005年(1月～12月)	150.4	83.4	55.5%	67.0	44.5%
2006年(1月～12月)	105.3	45.6	43.3%	59.7	56.7%
2007年(1月～12月)	91.8	39.1	42.6%	52.7	57.4%
2008年(1月～12月)	104.1	52.5	50.4%	51.6	49.6%
2009年(1月～12月)	101.6	49.2	48.4%	52.4	51.6%
2010年(1月～12月)	92.1	41.3	44.8%	50.8	55.2%
2011年(1月～12月)	78.1	25.8	33.0%	52.3	67.0%
2012年(1月～12月)	68.1	24.1	35.4%	44.0	64.6%
2013年(1月～12月)	78.6	25.8	32.8%	52.8	67.2%

1. (一社)日本クレジット協会の調査による。
2. 調査対象は、国際ブランドカードを発行している会社を中心に、銀行系カード会社、信販会社、流通系クレジット会社、中小小売商団体等である。
3. 回答社数は40社である。
- なお、銀行系カード会社のF C／B C各社は国内ブランド会社単位で、また日本専門店会連盟・エヌシー日商連の各単会は連盟単位で、それぞれ1社としている。
4. 集計数字は、調査票提出会社のキャッシングを含む不正利用被害額を加算合計したものであり、海外発行カード分は含まない。

＜参考4＞ 1997～2013年 クレジットカード偽造被害の国内・海外別内訳

(単位：億円)

期 間	クレジットカード偽造 被害額	クレジットカード偽造被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
1997年(1月～12月)	12.0	6.0	50.0%	6.0	50.0%
1998年(1月～12月)	28.0	18.8	67.1%	9.2	32.9%
1999年(1月～12月)	90.9	76.2	83.8%	14.7	16.2%
2000年(1月～12月)	140.2	105.8	75.5%	34.4	24.5%
2001年(1月～12月)	146.4	118.9	81.2%	27.5	18.8%
2002年(1月～12月)	165.0	143.4	86.9%	21.6	13.1%
2003年(1月～12月)	164.4	139.9	85.1%	24.5	14.9%
2004年(1月～12月)	105.6	82.1	77.7%	23.5	22.3%
2005年(1月～12月)	83.4	64.2	77.0%	19.2	23.0%
2006年(1月～12月)	45.6	31.7	69.5%	13.9	30.5%
2007年(1月～12月)	39.1	25.0	63.9%	14.1	36.1%
2008年(1月～12月)	52.5	38.0	72.4%	14.5	27.6%
2009年(1月～12月)	49.2	32.6	66.3%	16.6	33.7%
2010年(1月～12月)	41.3	28.7	69.5%	12.6	30.5%
2011年(1月～12月)	25.8	18.5	71.7%	7.3	28.3%
2012年(1月～12月)	24.1	14.9	61.8%	9.2	38.2%
2013年(1月～12月)	25.8	15.0	58.1%	10.8	41.9%